麻疹・風疹・ムンプス（MMR）ワクチンの説明書
商品名：Priorix

■予防できる病気

麻疹（はしか）：発熱や咳、鼻水の風邪症状のあと39℃以上の高熱と発疹が生じます。
肺炎や脳炎を合併し、妊娠中に罹ると流産や早産を起こす危険があります。
免疫を有していない成人の致死率は0.1%程度とされています。

風疹（三日ばしか）：発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とし、
妊婦が感染すると胎児に影響を与える（先天性風疹症候群）危険性があります。

ムンプス（おたふくかぜ）：耳の下の頬の辺りにウイルスが侵入し炎症を起こします。
成人男性では精巣炎の原因になることがありますが、不妊になることは稀です。

■流行地域と感染経路

・いずれも発展途上国を中心に世界で流行。風疹は数年前に東京で流行しました。
・空気感染や飛沫感染で伝染します。

■診断と治療

・発熱形式や皮疹、採血による抗体上昇から総合的に診断します。
・麻疹は診断ガイドラインに沿って診断します。
・特別な治療法はなく、対症療法のみです。

■予防方法

・人混みを避ける。マスクの着用。手洗い・うがいの励行。
・ワクチンを接種する。

■ワクチン接種対象者

・ワクチン接種歴のない、または不明な方。それぞれの抗体価が免疫として不十分な方。
・2回の接種を推奨します。

■ワクチンについて

・MMRワクチンは輸入国内未承認ワクチンです。
・過去に国内承認MMRワクチンで無菌性髄膜炎の報告が相次ぎ本邦では定期接種が中止されましたが、原因であるムンプスの株が異なり、安全性が高いワクチンです。

	Priorix（輸入ワクチン）
【製造会社】	GSK（GlaxoSmithkline）
【適応年齢】	1歳以上。
【接種回数】	1～2回。
【接種方法】	皮下注射。
【追加接種】	10年毎の接種を推奨します。

■副反応

注射部位の違和感、発赤、疼痛を生じることがあります。まれに発熱、頭痛、
倦怠感、筋肉痛を認めます。ごくまれにアナフィラキシーショックを起こします。

■注意事項

過去に同ワクチンにアレルギーのある方、発熱、妊娠予定2ヶ月前、妊娠・授乳中、
免疫抑制剤使用中、HIVの方は接種できません。
母子手帳で接種歴を確認できます。

■健康被害が生じた場合

輸入ワクチンでは輸入代行業者による副作用救済制度を利用できます。
ワクチン接種後に発生した副反応などの症状には適宜対応します。